

2018年12月期(2018年度)第2四半期 決算説明資料

2018年8月10日

東洋ゴム工業株式会社

資料の内容

1. 2018年12月期（2018年度）第2四半期業績 実績
2. 2018年12月期（2018年度）通期業績 予想

本資料に掲載されている業績予想や計画などの将来にわたる部分については、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことを十分にご認識の上、ご活用下さい。

2018年12月期第2四半期実績

(百万円)	2018年度 第2四半期 実績	2017年度 第2四半期 実績	対前年 増減額	対前年 増減率	2018年度 第2四半期 期初予想	対 期初予想 増減額
売上高	185,738	192,041	△6,302	△3.3%	189,000	△3,262
営業利益 (利益率)	20,805 (11.2%)	21,834 (11.4%)	△1,028	△4.7%	20,600 (10.9%)	+205
経常利益	19,009	18,695	+314	+1.7%	18,900	+109
四半期純利益	7,068	11,076	△4,008	△36.2%	12,400	△5,332

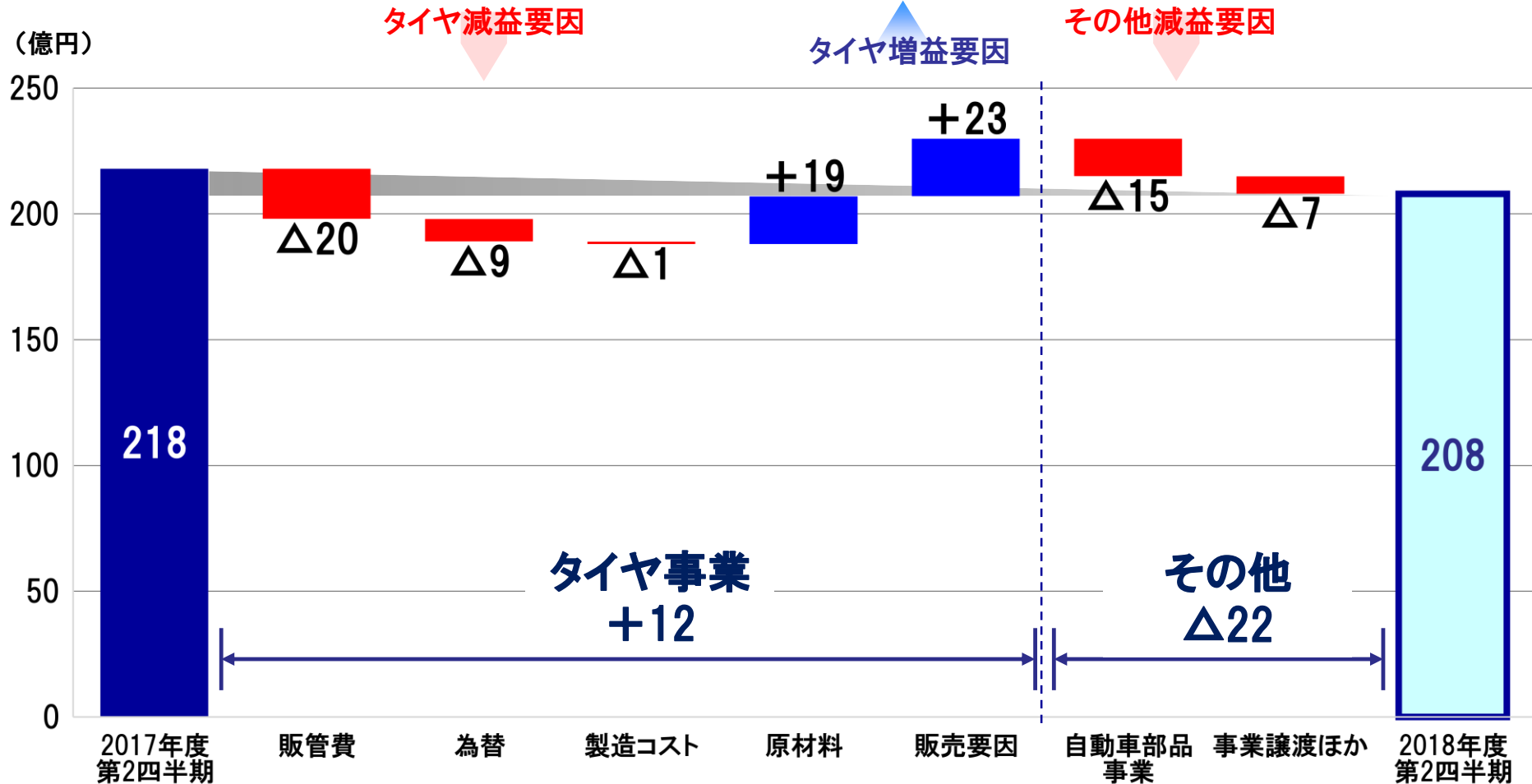
※四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

為替レートの	USD	109円	113円	△4円
	EUR	132円	121円	+11円

2018年度通期 為替感応度	
USD	5.0億円/年
EUR	1.0億円/年

2018年12月期第2四半期実績 営業利益増減要因

2017年度 第2四半期実績	増減			2018年度 第2四半期実績
218	Δ10			208
	Δ31	+43	Δ22	



2018年12月期第2四半期に対する免震ゴム対策の影響

(ご参考)

(単位:百万円)	第1四半期 (A)	第2四半期 (B)	第2四半期 累計 (A+B)
55棟	—	7,729	7,729
99棟	—	△908	△908
諸費用	724	2,568	3,293
補償費用等	634	94	729
合計	1,359	9,484	10,844

2015年度 通期累計	2016年度 通期累計	2017年度 通期累計
23,063	17,034	608
7,386	35,068	12,281
12,104	10,418	3,156
4,119	4,260	2,590
46,674	66,781	18,637

注)55棟:2015年3月13日公表分、99棟:2015年4月21日公表分

項目内訳

第1四半期 (A)

55棟および99棟における交換用の免震製品代金や改修工事費は計上なし。
補償費用 約6億円、諸費用(主として免震ゴム対策本部人件費等)約7億円を計上

第2四半期 (B)

交換用の免震製品代金や改修工事費用 約68億円、補償費用等 約0.9億円、
諸費用約26億円(主として、免震ゴム製品交換工事に係る保険料 約12億円、
免震ゴム対策統括本部人件費等 約10億円、免震ゴムの交換用設備に係る費用等
約3億円)を計上

第2四半期以降

現時点で合理的に金額を見積もることが困難なもので、今後発生する費用がある
場合には、対処進行状況等によって追加計上する可能性あり

交換・改修の実績 (6月30日現在)

55棟(G039) : 44棟着工 (うち製品交換の完了41棟)
99棟(G039以外) : 60棟着工 (うち製品交換の完了47棟)

●売上高

(百万円)	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ	160,046	154,066	+5,980	+3.9%
自動車部品	25,661	26,370	△709	△2.7%
化工品	—	11,580	△11,580	—
その他	68	109	△41	△37.6%
調整額	△37	△85	+48	—
合計	185,738	192,041	△6,302	△3.3%

●営業利益

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

(百万円)	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
タイヤ (利益率)	22,669 (14.2%)	21,461 (13.9%)	+1,207	+5.6%
自動車部品 (利益率)	△1,901 (△7.4%)	△366 (△1.4%)	△1,535	—
化工品	—	692	△692	—
その他	51	62	△11	△17.7%
調整額	△14	△16	+1	—
合計	20,805	21,834	△1,028	△4.7%

●売上高

(百万円)	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	54,533	66,297	△11,763	△17.7%
北 米	92,679	89,383	+3,296	+3.7%
そ の 他	38,525	36,360	+2,164	+6.0%
消去または全社	—	—	—	—
合 計	185,738	192,041	△6,302	△3.3%

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

●営業利益

(百万円)	2018年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
日 本	14,367	12,704	+1,663	+13.1%
北 米	3,932	5,700	△1,768	△31.0%
そ の 他	2,715	3,017	△301	△10.0%
消去または全社	△210	412	△623	—
合 計	20,805	21,834	△1,028	△4.7%

2018年12月期通期修正予想

(百万円)	2018年度 通期 修正予想	2017年度 通期実績	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	395,000	404,999	△9,999	△2.5%
営業利益 (利益率)	45,000 (11.4%)	45,308 (11.2%)	△308	△0.7%
経常利益	42,000	40,167	+1,833	+4.6%
当期純利益	22,000	15,476	+6,524	+42.2%

2018年度 通期 期初予想	対 期初予想 増減額
400,000	△5,000
47,000 (11.8%)	△2,000
44,300	△2,300
29,000	△7,000

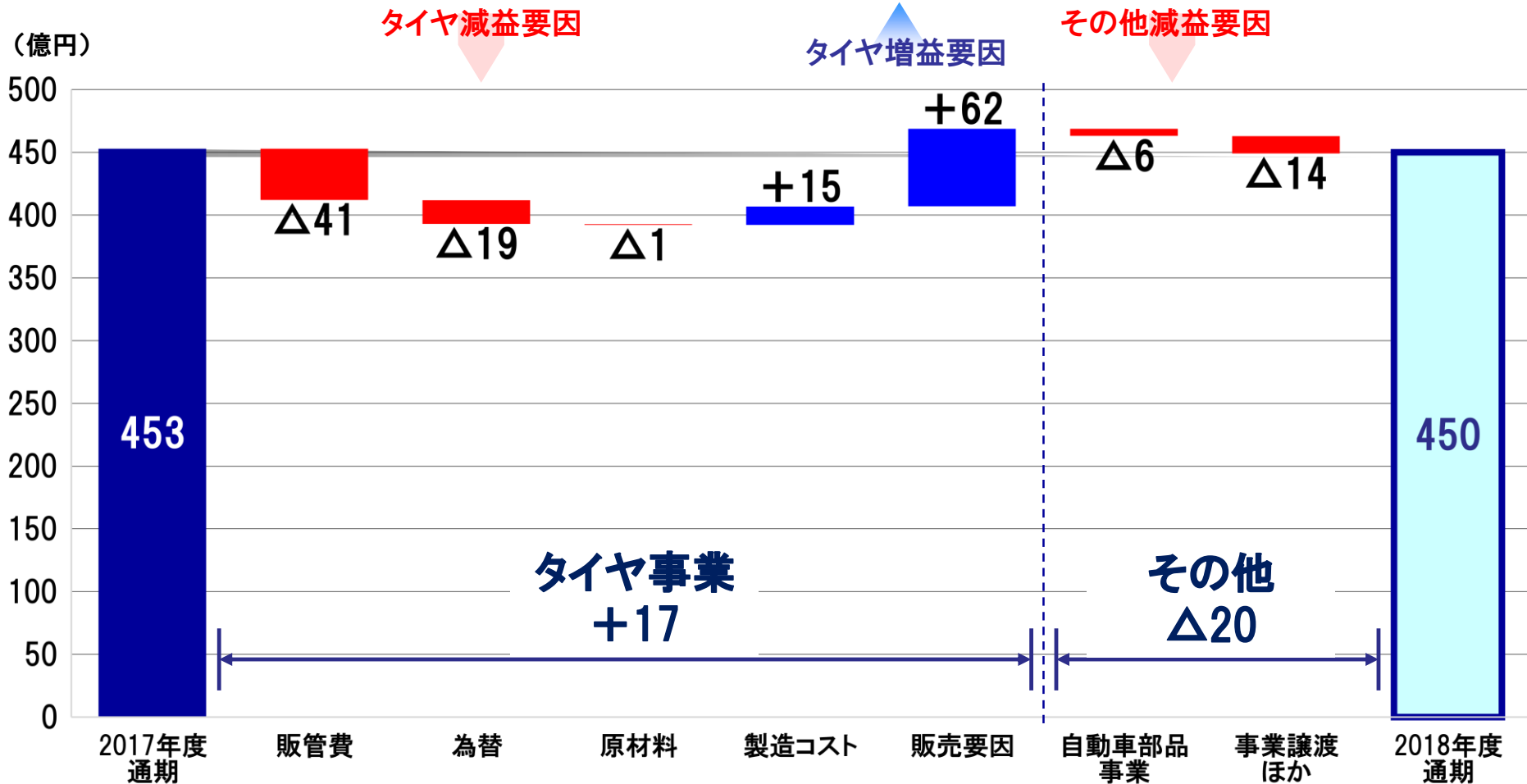
※当期純利益:親会社株主に帰属する当期純利益

為替 レ－ト	USD	110円	112円	△2円
	EUR	131円	126円	+5円

2018年度通期 為替感応度	
USD	5.0億円/年
EUR	1.0億円/年

2018年12月期通期修正予想 営業利益増減要因

2017年度 通期実績	増減			2018年度 通期修正予想
453	Δ3			450
	Δ61	+77	Δ20	



2018年12月期通期修正予想 事業セグメント別概要

●売上高

(百万円)	2018年度				2017年度	
	通期修正予想	通期実績	対前年増減額	対前年増減率	通期	期初予想
タイヤ	343,000	327,097	+15,903	+4.9%	348,000	△5,000
自動車部品	51,900	53,150	△1,250	△2.4%	51,489	+411
化工品	—	24,710	△24,710	—	—	—
その他	100	203	△103	△50.7%	511	△411
調整額	0	△161	+161	—	0	0
合計	395,000	404,999	△9,999	△2.5%	400,000	△5,000

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含む。

●営業利益

(百万円)	2018年度				2017年度	
	通期修正予想	通期実績	対前年増減額	対前年増減率	通期	期初予想
タイヤ (利益率)	47,700 (13.9%)	46,047 (14.1%)	+1,653	+3.6%	47,700 (13.7%)	0
自動車部品 (利益率)	△2,800 (△5.4%)	△2,240 (△4.2%)	△560	—	△700 (△1.4%)	△2,100
化工品	—	1,389	△1,389	—	—	—
その他	100	151	△51	△33.8%	0	+100
調整額	0	△38	+38	—	0	0
合計	45,000	45,308	△308	△0.7%	47,000	△2,000

※セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去額等を含む。

2018年12月期通期修正予想 所在地セグメント別概要

●売上高

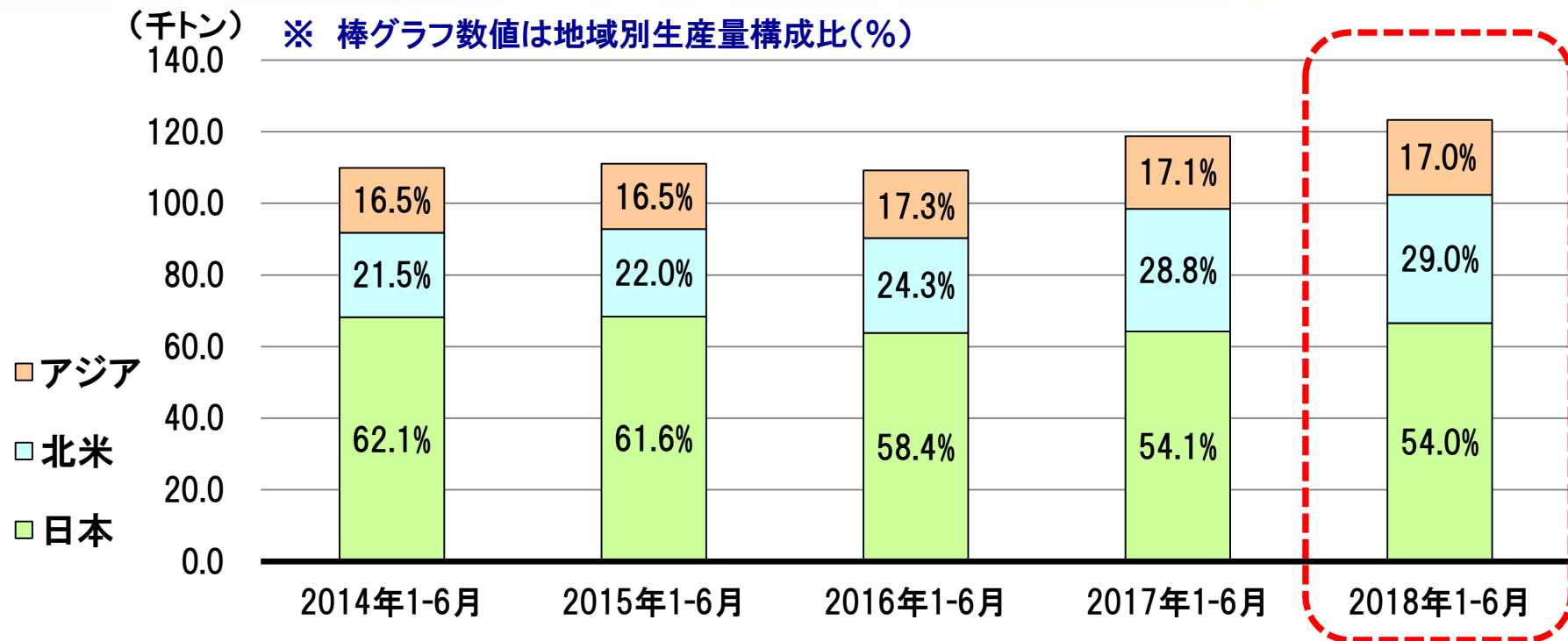
(百万円)	2018年度		2017年度	対前年	対前年	2018年度	
	通期修正予想	通期実績				増減額	増減率
日 本	122,000	146,562	△24,562	△16.8%	121,800	+200	
北 米	199,300	186,312	+12,987	+7.0%	202,300	△3,000	
そ の 他	73,700	72,125	+1,574	+2.2%	75,900	△2,200	
消去または全社	—	—	—	—	—	—	
合 計	395,000	404,999	△9,999	△2.5%	400,000	△5,000	

※売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含まず。

●営業利益

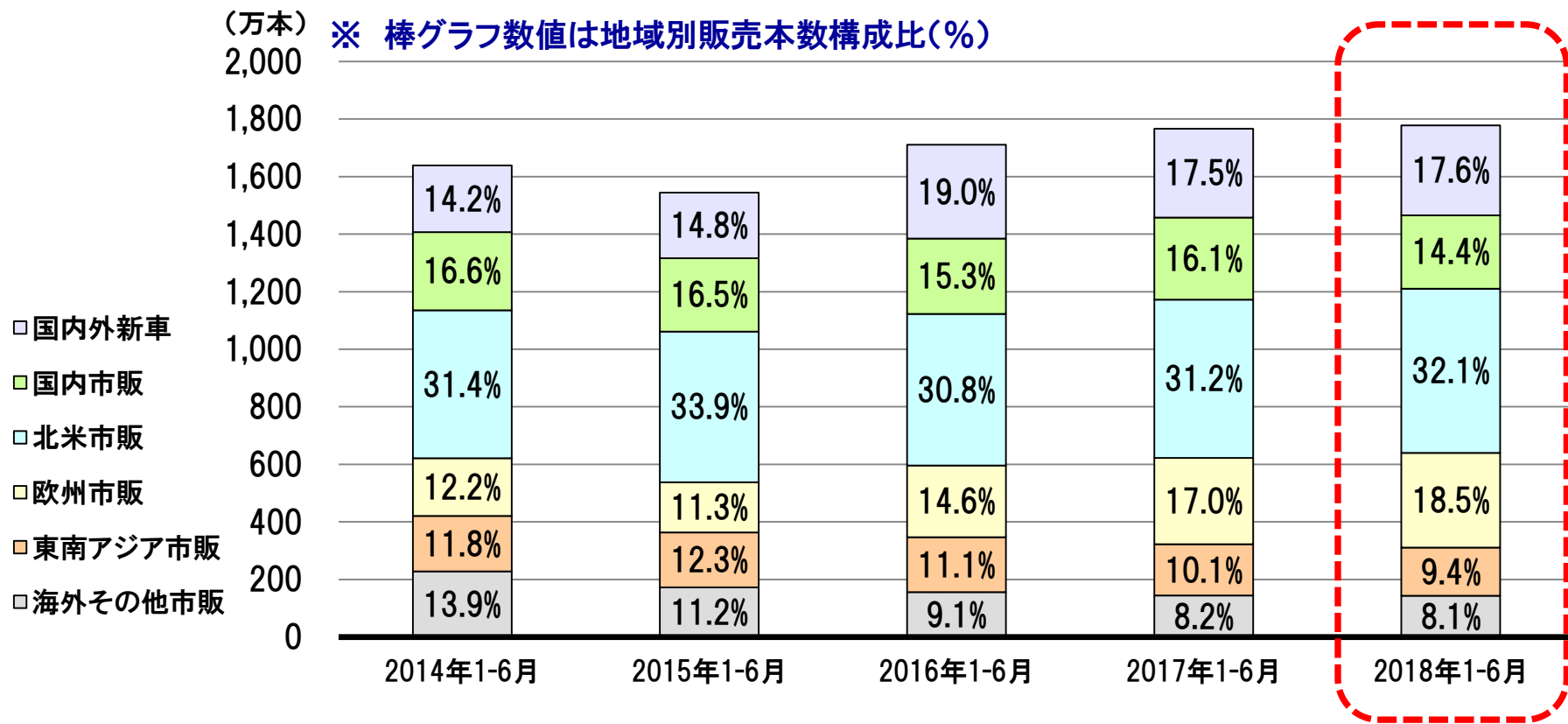
(百万円)	2018年度		2017年度	対前年	対前年	2018年度	
	通期修正予想	通期実績				増減額	増減率
日 本	32,100	31,920	+180	+0.6%	31,400	+700	
北 米	9,200	8,652	+548	+6.3%	10,900	△1,700	
そ の 他	4,600	4,888	△288	△5.9%	5,300	△700	
消去または全社	△900	△152	△748	—	△600	△300	
合 計	45,000	45,308	△308	△0.7%	47,000	△2,000	

(ご参考) タイヤ生産量(新ゴム量)の推移



(単位:千トン)		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
		1-6月	1-6月	1-6月	1-6月	1-6月
日	本	68.2	68.4	63.8	64.2*	66.6
北	米	23.6	24.4	26.5	34.2	35.8
ア	ジ	18.1	18.3	18.9	20.3	20.9
合	計	109.9	111.1	109.2	118.7*	123.3

(ご参考) タイヤ販売本数 地域別構成比



販売本数構成比(%)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
	1-6月	1-6月	1-6月	1-6月	1-6月
市販合計	85.8%	85.2%	81.0%	82.5%	82.4%
うち海外市販	69.2%	68.7%	65.7%	66.4%	68.1%
うち国内市販	16.6%	16.5%	15.3%	16.1%	14.4%
新車合計	14.2%	14.8%	19.1%	17.5%	17.6%

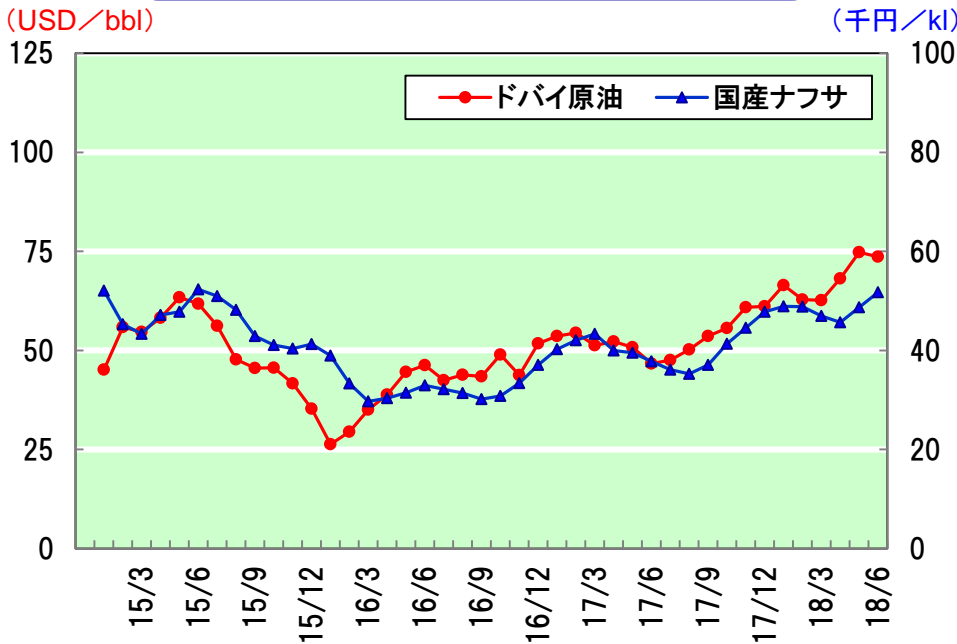
(ご参考) タイヤ販売本数 地域別前年同期比推移

前年同期間を100とした場合の対前年比率

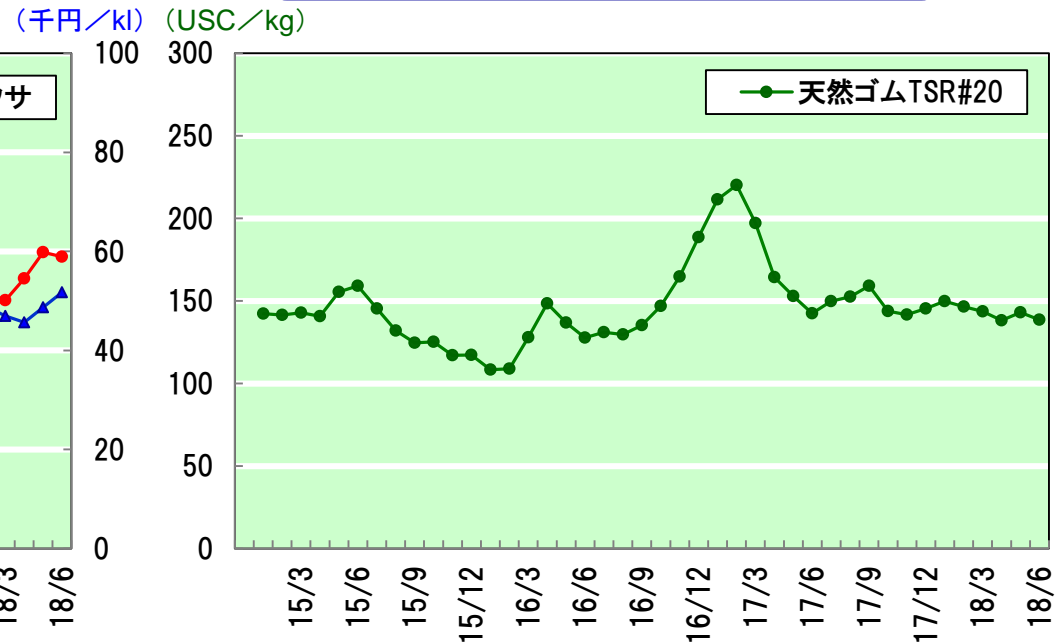
(単位:%)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
	1-6月	1-6月	1-6月	1-6月	1-6月
国内外新車	88	99	143	95	101
国内市販	107	94	103	109	90
海外市販	110	94	106	105	103
うち北米	107	102	100	105	104
うち欧州	117	88	143	120	110
うち東南アジア	104	99	100	93	94
合計	106	94	111	103	101

◆価格動向

ドバイ原油、国産ナフサ価格推移



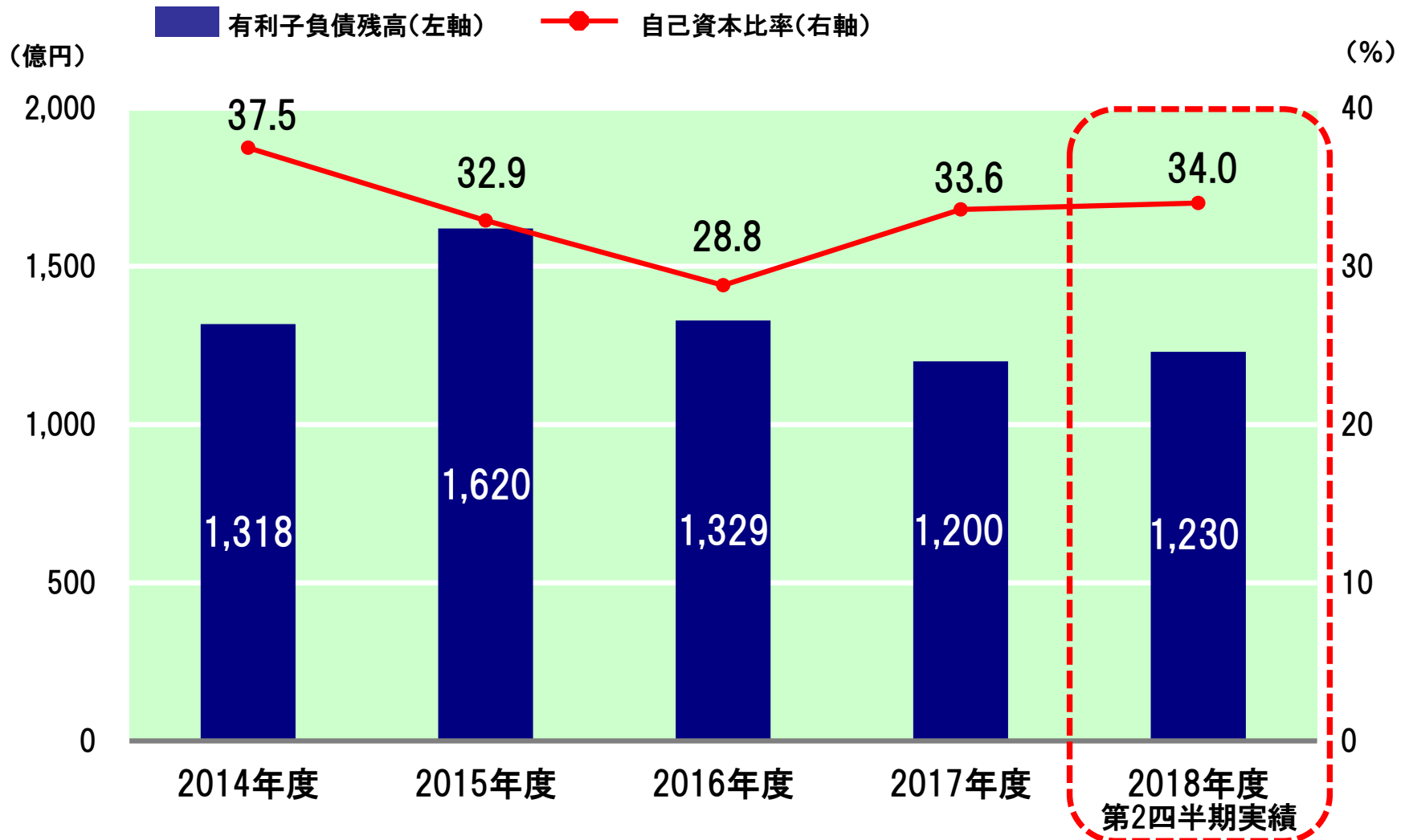
天然ゴムTSR#20価格推移(SICOM)



◆価格変動影響額 (営業利益ベース、単位:億円)

原材料別	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 1-6月実績
天然ゴム	+69	+75	+25	△75	+18
石化品	△9	+99	+64	△77	+6
その他原材料	△4	+4	+11	+13	△7
仕入れ製品	+7	0	0	0	0
合計	+63	+178	+100	△139	+18

(ご参考) 有利子負債残高と自己資本比率の推移



再発防止策の進捗状況につきましては、
四半期ごとに当社ホームページでの公表を継続して参ります。



The screenshot shows the TOYO TIRES website navigation and content. The main heading is "進捗報告" (Progress Report). Below it, a sub-heading reads "再発防止策の進捗について (2018年5月11日公表分)" (Regarding the progress of the recall prevention strategy (as of the announcement on May 11, 2018)). A sidebar on the left lists various corporate activities, including "品質保証改善並びにコンプライアンス啓発強化" (Improvement of quality assurance and strengthening of compliance promotion). The main content area features an "IRニュース" (IR News) section with a table of updates:

更新情報	IR NEWS	IRニュース一覧
2018.06.14	更新情報	2017年12月期ファクトブック (英文) (1,888KB)
2018.06.14	更新情報	2017年12月期ファクトブック (和文) (1,995KB)
2018.05.11	決算	2018年12月期 第1四半期報告書 (501KB)
2018.05.11	決算	平成30年12月期 第1四半期決算短信【日本基準】(連結) (767KB)

At the bottom, a callout box provides additional information:

免震ゴム／防振ゴム問題への対応について
→ 信頼回復に向けて(一連の問題に対する再発防止策)
→ 進捗報告について
(<http://www.toyo-rubber.co.jp/special/menshin/progress3/>)

A pink arrow points from this callout to a video player thumbnail titled "免震ゴム／防振ゴム問題への対応について" (Regarding the recall prevention strategy for shock absorbers and vibration absorbers).

TOYO TIRES
driven to perform